

令和5年度 西東京市立明保中学校 経営方針

校長 澤井 稔

[校訓] 考える学校 ～皆で一緒に考えながら、素敵な学校にしていこう～

[教育目標] すすんで学び 心身ともに 健康で 思いやりのある 人になる

1 明保中学校のミッション

子どもたちが大人になったとき、堂々と生きていけるようにする。

2 スローガン

毎日行きたくなる学校

3 教育活動の方針

- (1) 「人から感謝される活動」「人から必要とされる活動」を重視し、学校への登校意欲を高めながら、自分や他人を大切にすることを育む。
- (2) 「自然体験活動」を重視し、人や地球の素晴らしさ、生きていることの喜びや楽しさを実感させる。
- (3) 「運動の得意、不得意に関わらず皆で一緒に体を動かす活動」を重視し、生涯にわたって体を動かすことの大切さや人と一緒に運動することの楽しさを実感させる。
- (4) 「一人でじっくり考える活動」「自分の思いや考えを人に伝える活動」を重視し、全教科において生徒主体の授業を行い、困難な課題に対しても、考え、創造しながら、立ち向かう力を育成する。

4 職員の行動指針

- ・ 「教育相談、教育支援」の考え方をベースに生徒に接する。生徒の能力を伸ばす指導を行う。生徒の可能性の芽を摘んでしまってはいけない。
- ・ 「生徒の声」を大切にされた対応を行う。自分のたちの学校を愛し、よりよくしていこうという気持ちを育むことで、明保中学校も未来の社会も良くなっていく。
- ・ 保護者、地域住民、行政、学校が同じ歩調で生徒に向き合うことで、はじめて理想の教育が実現する。学校と生徒の間のみで物事を考えるのではなく、「保護者、地域住民の思い」を尊重かつ大切にされた対応を心がける。
- ・ 「見えないところこそまじめに行動する」ことを意識し、生徒の命、学校への信頼を守り抜く。また、互いに点検し合いながらサービス事故を未然に防止する。
- ・ 未来を見据えた職務遂行、教育活動を実践する。他校をリードしながら、「教育効果の向上、最先端技術への挑戦、民間企業との連携、時間や費用のスリム化、職員のライフ・ワーク・バランスの実現」に努める。